# 令和４年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査結果の活用について

## 1　調査の概要

### (1) 調査の目的

東京都の児童・生徒の学びに向かう力等に関する意識及び学校の指導方法等を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、各学校の教育指導の充実や組織的な授業改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、児童・生徒の学力向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象とする学校

都内公立小学校、中学校、義務教育学校、
中等教育学校（前期課程）

### (3) 調査の対象とする児童・生徒

・小学校第４学年から第６学年までの児童
・中学校及び中等教育学校第１学年から第３学年までの生徒
・義務教育学校第４学年から第９学年までの児童・生徒

### (4) 調査内容・調査方法

| 調査名 | 調査内容 | 調査方法 |
|---|---|---|
| 児童・生徒調査 | 児童・生徒の学びに向かう力等に関する意識を調査 | 児童・生徒が児童・生徒用パソコンやタブレット端末等を用いてウェブシステムを通じて回答 |
| 学校調査 | 学校の指導方法等を調査 | 学校管理職等が教師用パソコンやタブレット端末等を用いてウェブシステムを通じて回答 |

### (5) 調査実施期間

・児童・生徒調査　令和４年５月16日（月）から６月24日（金）まで
・学校調査　令和４年５月16日（月）から６月10日（金）まで

### (6) 調査に回答した学校数及び児童・生徒数

| 学校種別 | 学校数（校） | 児童・生徒数（人） | |
|---|---|---|---|
| 小学校 | 1,277 | 第４学年 | 92,135 |
| | | 第５学年 | 92,368 |
| | | 第６学年 | 93,539 |
| | | 合計 | 278,042 |
| 中学校 | 622 | 第１学年 | 71,485 |
| | | 第２学年 | 70,278 |
| | | 第３学年 | 70,281 |
| | | 合計 | 212,044 |

※小学校には、義務教育学校（前期課程）を含む。
※中学校には、義務教育学校（後期課程）及び中等教育学校（前期課程）を含む。

## 2　調査結果の活用

### 調査結果データ・調査結果活用支援プログラム

児童・生徒調査結果データ
学校調査結果データ　　都全体のデータ

↓

調査結果活用支援プログラム

### 保護者向け資料

調査結果を踏まえ、児童・生徒の学習や生活について家庭で取り組んでほしいことを紹介する資料を配布

### 授業改善推進拠点校

小学校 10 校、中学校 10 校を指定。研究・開発の成果により、都調査と国調査の結果等を関連付けて分析し、授業改善を推進

| 小学校（10 校） | | 中学校（10 校） | |
|---|---|---|---|
| 新宿区 | 新宿区立戸山小 | 港　区 | 港区立港南中 |
| 杉並区 | 杉並区立杉並第一小 | 文京区 | 文京区立第十中 |
| 北　区 | 北区立王子第五小 | 世田谷区 | 世田谷区立芦花中 |
| 荒川区 | 荒川区立第五峡田小 | 練馬区 | 練馬区立上石神井中 |
| 江戸川区 | 江戸川区立第三葛西小 | 葛飾区 | 葛飾区立金町中 |
| 昭島市 | 昭島市立拝島第二小 | 立川市 | 立川市立川第八中 |
| 町田市 | 町田市立鶴川第二小 | 三鷹市 | 三鷹市立第五中 |
| 福生市 | 福生市立福生第六小 | 青梅市 | 青梅市立第三中 |
| 狛江市 | 狛江市立狛江第一小 | 府中市 | 府中市立浅間中 |
| 多摩市 | 多摩市立多摩第三小 | 西東京市 | 西東京市立青嵐中 |

## 3　調査結果の活用事例

### 《小学校の事例》

### 個別最適な学びの実現につながる「個人票」を活用した取組

「個人票」を活用することで、子供に自分の学習の進め方を振り返らせ、今後の学習の進め方の改善に取り組ませた事例です。

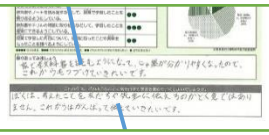
#### 個人票の活用事例

**自身による振り返りの記入**
個人票に設定した、「振り返り」の欄を活用し、児童・生徒に自分の学び方等を振り返らせる。

**保護者への働きかけ**
学校は、調査の趣旨や個人票の見方等を示した資料を作成し、児童が振り返りを終えた個人票とともに各家庭へ返却した。学校は、各家庭において、個人票に基づき、児童と今後の学習の進め方等について話し合う機会を設定するよう依頼する。

〔児童が振り返った例〕

家で教科書を読むようになって、授業が分かりやすくなったので、これからも続けていきたいです。



ぼくは、考えたことを友だちや先生に伝えるのが得意ではありません。これからはがんばって伝えていきたいです。

**情報の蓄積**
家庭へ返却した個人票は、児童が様々な学習情報を蓄積した個人ファイルで保管し、日常的に自身の学習の進め方について振り返り、学習改善を進めることができるようにする。

#### 取組の成果

◎「振り返り」に関する、今年度の児童・生徒調査の該当項目における**肯定的な回答が増加**
◎教師は、児童に対し、個人票を参考に個に応じた学び方に関する指導を行うことができるようになり、個別最適な学びが推進
◎多くの児童が、学習の進め方を常に振り返り、学習の進め方を改善

### 《中学校の事例》

### 「授業改善 PDCA サイクル」の確立に向けた取組

都や国の学力調査等に基づいた学校の分析等から、解決すべき課題とその課題の解決に向けた授業改善の手だてを明確にし、手だての実践と検証に取り組んだ事例です。

#### 分析・現状の把握

**都と国の調査結果の関連　～「クロス集計表」の作成・活用～**
「授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う」という設問について肯定的に回答した生徒の方が、否定的な回答をした生徒に比べて国語の正答率が高い。

**都の調査結果　～「学校票」の作成・活用～**
学習の進め方（11）「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている」に肯定的に回答した生徒の割合が少ない。

#### 課題及び課題の解決に向けた手だての明確化・実践・検証

①授業において、前時までと本時の学習内容のつながりを意識させたり、考えさせたりして理解を深める時間の十分な確保が必要
②生徒が理解したことや考えたことを、他の生徒や教師に説明する活動を充実させることが必要
③学習の進め方や学習の振り返りの仕方について、具体的な指導が必要

●「**教えて考えさせる授業スタイル**」の導入　●オンライン**予習**ノートの導入
●Ｄ層の生徒に対する緻密で具体的な支援

#### 取組の成果

◎学校全体で、授業改善に取り組んだことにより、今年度の児童・生徒調査の該当項目における**肯定的な回答が増加**
◎教師は授業改善の効果を実感
◎生徒は学習の進め方を改善するきっかけに